

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書（収益性向上対策）

令和6年8月29日

都道府県名 鳥取県

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

- (1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減
該当なし
- (2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標																				スマート農業推進 導入・定着の取組 の実施内容	地域(県又は国を含む) の価格(販売単価)		補正係数	価格補正 後の実績	事後評価の検証方 法(※定量的な検証 ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の 実現可能性		
					現状										目標											事業実施 前年度										目標年度	
					年度	面積	生産量又は 出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は 出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は 出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は 出荷量	価格(販売単価)	生産コスト		年度	面積									生産量又は 出荷量	価格(販売単価)
日南町 農業再生協 議会	1	日南町	施設野菜 (トマト)	施設野菜産地の 形成の推進 ①鳥取県型低コ ストハウスの導 入を支援するこ とで栽培面積を 拡大し、産地力 の強化とブランド 化を推進する。 ②栽培技術の確 立により収量性 の向上を図る。 これらのことによ り、販売額1 0%以上の増加 を実現する。	販売額の 10%以上の 増加	H29	175.075千円	5.6 ha	461.5 t	379.3 円/kg	-	R5	195.230千円	5.8 ha	514.7 t	379.3 円/kg	-	R5	217,981千円	5.4 ha	496.4 t	439.2 円/kg	-	-	321.0 円	354.0 円	0.907	197,661 千円	①現状値 H29年度 販売額 (JA日南F71生産 部総会資料) ②目標値 販売計 画額 R5年度 販売計 画額 ③実績値 販売額 (JA日南F71生産 部総会資料) ④達成率 (③-①)/(②-①) ×100	112.0%	栽培管理を生産者と指導機関が 連携して徹底した結果、多 収が期待できる複合耐病性台木 の導入、巡回指導により、単収 は目標比104%増となり、また 販売努力により単価が上昇し、 販売高は目標比112.0%(補正後) となった。これにより成果目標 を達成したものの、生産量と面 積は目標値に届かなかった。今 後は、猛暑による枯死株減少等 への対策や新規生産者確保の取 組により、生産量及び面積の拡 大に資するため引き続き指導を 行う。	ハウス資材の導入による新規栽培 者の加入促進や栽培管理の徹底な どによる単収増加及び品質向上が 図られ、目標が達成された。 引き続き栽培管理の徹底や新規 栽培者確保等の取組支援を行い、 生産量及び面積拡大を図っていく。					
鳥取市 農業再生協 議会、岩 美町農 業再生協 議会、八 頭町農 業再生協 議会、智 頭町農 業再生協 議会	4	鳥取市、 岩美町、 八頭町、 智頭町	野菜 (アスパラ ガス)	アスパラガス産 地の形成の推進 ①低コスト簡易 雨よけハウスの 導入及び生産資 材導入による収 量向上・長期安 定生産への取組 ②高品質・安定 供給による販売 力強化への取組 を推進すること により、販売額 10%以上の増加 を実現する。	販売額の10% 以上の増加	H 29	43,699千円	9.08 ha	42.87 t	1,019 円/kg	-	R5	58,084 千円	10.70 ha	57.59 t	1,008 円/kg	-	R5	52,199千円	5.89 ha	47.9 t	1,090 円/kg	-	-	998 円/kg	1,136 円/kg	0.879	45,883 千円	①現状値：H29年 度JA鳥取いなば アスパラガス精 算統計資料等による。(直販額を 含む) ②目標値：施設 化及び増反により R5年度の収量 増を見込む。ま た、単価はH29 年度JA鳥取いな ばアスパラガス 精算統計資料等 から算出。(直販 額を含む) ③実績値：R5年 度JA鳥取いなば アスパラガス精 算統計資料等か ら算出。(直販額 を含む) ④達成率：(③- ①)/(②-①)× 100	15.1%	ハウス、簡易雨よけによる施設 化を進めたことにより病害 虫被害等の減少や生産安定が 図れたことで、現状と比べて 出荷量、平均単価、単収とも 増加した。しかし、費用的 な面などから施設化がで きない生産者も多く、露 地栽培だと病気が多発し たり品質が安定しないこ とから、生産をやめたり 面積を減らす生産者が多 く、生産量が計画通り増 えなかったため販売金額 が伸びず目標未達成とな った。 面積増のために新規栽培 者の募集、既存の生産者 の栽培拡大を図るととも に、施設化等による防除 の徹底をはじめとした適 切な栽培管理の指導を行 い、販売額増加を目指す。	ハウス、簡易雨よけによる施設 化を進めたことによる病害 虫被害等の減少等が出荷 量、平均単価、単収 が増加したものの、費用 面等で施設化がで きない生産者も多く、 生産が不安定とな って生産をやめたり 面積を減らす生産者 が多く、生産量が計 画通り増えなかつた ため、販売金額が伸 びず目標未達成とな った。 面積増のために新規 栽培者の募集、既存 の生産者の栽培拡大 を図るとともに、病 害虫を抑制し品質上 昇、単収増加を図る ため施設化を進め、 販売金額の更なる増 進を目指す。	面積要件] 施設野菜 中山間地域 (要領別紙4の ウに該当) 参加農業者 数：(7名) 10名				
鳥取市 農業再生協 議会	5	鳥取市	果樹(ぶ どう)	ぶどう産地形成 の推進 ①鳥取県型低コ ストハウス等及 び生産資材導入 による収量向上 ・安定生産への 取組 ②高品質・安定 供給による販売 力強化への取組	販売額の10% 以上の増加	H 30	29,805千円	3.0 ha	29.2 t	1,022 円/kg	-	R5	33,153千円	4.1 ha	32.9 t	1,008 円/kg	-	R5	40,019千円	4.3 ha	30.9 t	1,297 円/kg	-	-	1,539 円	1,754 円	0.877	35,097 千円	①現状値：H30年 度JA鳥取いなば 国府支店果実部 総会資料等による。 ②目標値：施設化 による増反により R5年度の収量増 を見込む。また、 単価はH26-30 の平均値(最高、 最低除く)で算出 する。 ③実績値：R5年 度JA鳥取いなば 国府支店果実部 総会資料等から 算出。 ④達成率：(③- ①)/(②-①)× 100	158.0%	病害虫の発生を抑制しつつ、 新梢管理・摘果等作業を中心 とした適切な栽培管理によ り品質が向上した。また、人 気の高い品種である「シャ インマスカット」への品種 更新が順調にすすみ、出荷 量も増加し、成果目標が達 成となった。 次年度以降も引き続き防除 の徹底を始めとした適切 な栽培管理を行い、また更 に雨よけハウス導入の推 進を行い、苗木の育成にも 力をいれて、品質の向上 ・収量の増加を図る。	低コストハウス導入による面積 拡大が図られたことや、高 収益品種「シャインマスカ ット」への品種更新が順調 にすすみ、出荷量も年々増 加していることから、目標 を上回る販売額となった。 引き続き栽培管理の徹底等 の取組支援を行い、生産量 の拡大を図っていく。					